

平成26年度 シラバス

教科名(音楽) 科目名(演奏研究1年) 単位数(2) 対象学年(1年生芸術教養コース音楽選択)

学習目標: 声楽に関する基礎的な技術を習得させ、音楽性豊かな表現の能力を養う。

学期	月	時数	累計	指導内容	備考
1 学期	4	6	6	専攻の決定 発声、階名唱、リズム打ち	・楽譜を読むことに慣れさせる ・正しい発声を身につける
	5	8	14	合唱・ヴォーカルアンサンブル① 選曲、パート練習、合わせ、鑑賞	・ジャンルが片寄らないよう配慮する
	6	6	20	コールユーブンゲンとコンコーネ 独唱曲(イタリア歌曲)	・発声の基礎を学ぶ。
2 学期	7	6	26		
	9	6	32	合唱・ヴォーカルアンサンブル② 選曲、パート練習、合わせ、鑑賞	・なるべく自分たちで伴奏できるようにする。
	10	6	38	同上	
11	8	46	同上		
3 学期	12	6	52	合唱・ヴォーカルアンサンブル③ 選曲、パート練習、合わせ、鑑賞	・ジャンルが片寄らないよう配慮する
	1	6	58	発表会に向けての練習 発表会	・伴奏者の分担に配慮する
	2	6	64	録音会	・納得がいく演奏を目指させる。
	3	6	70	これまで学んだ曲のまとめ	

*学期は評価対象の月のまとまりとして表記してある

評価の観点・方法

授業態度、提出物、準備物、実技、ペーパーテスト(年1回程度)を総合的に評価します。

<主な観点>

- ◇ 授業態度———学習課題(教材)にまじめに取り組んでいるか 遅刻せずに出席しているか
- ◇ 提出物———毎回きちんと出しているか
- ◇ 準備物———教科書などを忘れずにもってきているか
- ◇ 実技(歌)———元気な声で歌えているか、音程やリズムがとれているか 曲の表情を表現できているか等
 - 演奏のタイミング(合唱・アンサンブル)
 - 学習の最初と終わりで向上がみられるか(努力のあとがみられるか)

学習のポイント

授業に取り組む姿勢も評価に大きく影響します。真摯な態度で授業に臨むことを期待します。音楽大学等への進学を考えている生徒は、専門的な個人レッスンを受けることが必須です。課外講座の受講のほか、大学の先生や生徒を音楽大学等に進学させた実績のある声楽家・演奏家の先生などに個人レッスンを受けて技術の向上を目指してください。